



Q.リウマチは遺伝するのでしょうか?

回答:市立貝塚病院
副院長兼整形外科主任部長

大野 充繁 医師



A、必ず遺伝するわけではありません。

関節リウマチの有病率は約0.5%（200人に1人）で、日本における関節リウマチの患者数は60〜70万人と推定されています。

リウマチの原因は未だに不明で、遺伝因子、環境因子などの複数の因子

が複雑に絡み合って発症するとされております。

ある調査によると、リウマチを持つ母から生まれた娘さんがリウマチを発症する可能性は約5%という結果でした。つまり、通常より10倍は高いのです。

が、それでも20人に1人ですから完全に遺伝するとは言えないと思われま

す。また、一卵性双生児（完全に遺伝子が一致）の一方が関節リウマチであった場合には約25%の確率でもう1人もリウマチであり、さ

リウマチと遺伝について

状態が望める疾患となってきました。

手にのこわばりや関節の腫れなどの症状がある方は当科を受診してください。

問 市立貝塚病院

(貝塚市堀3-10-20)

TEL 072-422-5

8005

<http://www.hosp.kaizuka.osaka.jp/>

りウマチは、遺伝とまったく無関係というわけではありませんが、

さまざまな環境因子が関係して発症していると言えます。

かつて関節リウマチ

は不治の病と考えられていましたが、この約20年間で様々な薬剤が臨床応用され、寛解（治療を続けながら、病気の症状がほぼ消失した